

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成 24 年 8 月 16 日 (2012.8.16)

【公開番号】特開 2011-14451 (P2011-14451A)

【公開日】平成 23 年 1 月 20 日 (2011.1.20)

【年通号数】公開・登録公報 2011-003

【出願番号】特願 2009-158994 (P2009-158994)

【国際特許分類】

H 0 1 R 12/79 (2011.01)

H 0 1 R 12/78 (2011.01)

H 0 1 R 12/71 (2011.01)

H 0 1 L 23/12 (2006.01)

H 0 1 R 24/00 (2011.01)

H 0 1 R 12/53 (2011.01)

【 F I 】

H 0 1 R 23/68 3 0 3 C

H 0 1 L 23/12 F

H 0 1 R 23/02 H

H 0 1 R 9/09 D

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 7 月 2 日 (2012.7.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

基板本体と、

前記基板本体の第 1 の面に設けられた第 1 の導体と、

一方の端部が前記第 1 の導体に固定されており、他方の端部が前記基板本体の前記第 1 の面と対向配置される被接続物に接続されるバネ性を有する導電性の接続端子と、を有し、

前記第 1 の導体に固定されている前記接続端子の一方の端部には前記第 1 の導体側に突起する突起部が設けられている接続端子付き基板。

【請求項 2】

前記接続端子は、金属板をその厚さ方向に湾曲してなり、

前記接続端子の一方の端部は、前記第 1 の導体に対向する平坦面を有する平板状であり

前記平坦面に前記第 1 の導体側に突起する前記突起部が設けられており、

前記突起部の先端は、前記第 1 の導体に当接しており、

前記平坦面と前記第 1 の導体との間には接続部材が充填され、前記接続部材により前記接続端子の一方の端部と前記第 1 の導体とが固定されている請求項 1 記載の接続端子付き基板。

【請求項 3】

前記接続部材は、はんだ、又は、導電性ペーストである請求項 1 又は 2 記載の接続端子付き基板。

【請求項 4】

前記第 1 の面とは反対側に位置する前記基板本体の第 2 の面に設けられた第 2 の導体と、
一方の端部が前記第 2 の導体に固定されており、他方の端部が前記基板本体の前記第 2 の面と対向配置される被接続物に接続されるパネ性を有する導電性の接続端子と、を更に有し、

前記第 2 の導体に固定されている前記接続端子の一方の端部には前記第 2 の導体側に突起する突起部が設けられている請求項 1 乃至 3 の何れか一項記載の接続端子付き基板。

【請求項 5】

前記基板本体を前記第 1 の面から前記第 2 の面にかけて貫通する貫通電極が設けられており、

前記貫通電極の前記第 1 の面に露出する一方の端部が前記第 1 の導体であり、

前記貫通電極の前記第 2 の面に露出する他方の端部が前記第 2 の導体である請求項 4 記載の接続端子付き基板。

【請求項 6】

前記接続端子の一方の端部には複数の突起部が設けられている請求項 1 乃至 5 の何れか一項記載の接続端子付き基板。

【請求項 7】

前記突起部は円錐台形状である請求項 1 乃至 6 の何れか一項記載の接続端子付き基板。

【請求項 8】

前記突起部は半球状である請求項 1 乃至 6 の何れか一項記載の接続端子付き基板。

【請求項 9】

前記突起部は円柱状である請求項 1 乃至 6 の何れか一項記載の接続端子付き基板。

【請求項 10】

前記接続端子の一方の端部と他方の端部との間に湾曲した形状の部分を含む請求項 1 乃至 9 の何れか一項記載の接続端子付き基板。

【請求項 11】

電子部品のソケットである請求項 1 乃至 10 の何れか一項記載の接続端子付き基板。

【請求項 12】

電子部品のインターポーザである請求項 1 乃至 10 の何れか一項記載の接続端子付き基板。

【請求項 13】

電子部品の試験のためのコンタクトプローブである請求項 1 乃至 10 の何れか一項記載の接続端子付き基板。

【請求項 14】

半導体パッケージである請求項 1 乃至 10 の何れか一項記載の接続端子付き基板。